

研修プランA 8

異校種の教員が同じ授業を通して自校の取組を考える

- 目的 異校種（複数校）が合同で開催した授業研究会で得た授業改善の方向性を、自校の取組として具体化することを目指す研修会です。
※教科横断的な視点から授業改善について話し合い、授業改善の方向性をまとめる
異校種（複数校）合同の授業研究会を実施した後に行うことを想定しています。
- 対象 校内
- 時間 60分
- 形態
- | | 【協議1】 | 【協議2】 | 【省察】 | | |
|-----------|------------------------------|-------|-----------------------|------|------|
| 全体 | → グループ1 | → 全体 | → グループ2 | → 全体 | → 個人 |
| ※グループの分け方 | グループ1…教科・学年等混合のグループ（4～6人が目安） | | グループ2…学年別または教科別等のグループ | | |
- ※時間短縮のため、【協議1】だけを合同で行い、【協議2】【省察】はグループごとに別途時間を設けて実施するなども考えられる。
- 準備物
- 付箋（5 cm × 7.5 cm、2色：水色・黄色、水色は人数分×10枚くらい、黄色は人数分）
※サイズ、色は一例
 - 太フェルトペン（グループ数）
 - 黒サインペン（人数分、個人で準備なら事前に知らせておく）
 - 模造紙（協議1のグループ数分）
 - A3判用紙（協議2のグループ数）

●研修前

- ファシリテーターは、別途実施した合同授業研究会でまとめた授業改善の方向性を確認しておく。
- 次の2点について、参加者に伝える。
 - ・グループ1（学年・教科等混合）、グループ2（学年別または教科別）のメンバー
 - ・研修会開始時の座席（グループ1のメンバーでまとまって座れるように）

●研修

流れ	進め方	留意点等	スライド 番号
1 研修の説明 【全体】(5分)	○目的と流れについて説明する。	○目的は上記「■目的」参照 ○流れは左欄「流れ」参照 ○協議1のグループの席に座っているか、確認する。 ○グループの分け方は上記「■形態」参照	1 2
2 合同授業研究会の確認 【全体】(5分)	○合同授業研究会でまとめた授業改善の方向性を確認する。	○まとめられた授業改善の方向性だけでなく、次の事柄についても伝えられるとよい。 ・合同授業研究会で、各グループからどのような意見が出されたか ・それがどのような視点でまとめられたか ・他校の教員から得た示唆	3
協議1《個人→学年・教科等混合グループ→全体》 ◆ねらい◆ 学校として取り組むことを焦点化する			
3 付箋に記入 【個人】(10分)	○授業改善の方向性の実現に向けて、学校として取り組むことについて、個人で付箋に記入する。	○学校教育目標、目指す子供像、研究主題に照らし合わせ、授業改善の方向性の実現に向けて必要だと思うことを、具体的な手立てとして書く。 ○付箋記入時は次の点に留意する。 ・色を1色に指定(例:水色) ・1枚の付箋に1項目 ・単語ではなく単文で ・黒サインペンを使って	4
4 付箋の分類・整理 【グループ】(15分)	○模造紙上で付箋を分類しタイトルをつけ、学校として取り組むこととして整理する。	○似たものを集めてグルーピングし、それぞれにタイトルをつける。	5 6
5 学校として取り組むことの焦点化 【全体】(15分)	○各グループで話し合った内容を発表し、まとめる。	○発表時は、つけたタイトルを中心に発表する。 ○進行担当は、発表内容の要点やキーワードを黒板等へ書き出し、学校教育目標、目指す子供像、研究主題に照らし合わせまとめる。まとめかたは、次のようなものが考えられる。 ・より多くのグループから出された意見に絞る ・優先順位をつける	7
協議2《学年/教科別等グループ→全体》 ◆ねらい◆ 学年や教科等で取り組むことを焦点化する			
6 取組の具体化 【グループ】(10分)	○学年/教科等で取り組むことについて話	○協議2のグループの席へ移動するよう促す。 ○グループの分け方は上記「■形態」参照	8

	し合い、「宣言」としてまとめる。	<p>○目的や各校の実態によって、次のような分け方が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとのグループ ・教科ごとのグループ ・校務分掌ごとのグループ <p>○「流れ5」でまとめた「学校として取り組むこと」を受け、各グループ（学年、教科等）で取り組むことの詳細を考える。</p> <p>○考えたことまとめ、A3版用紙に太フェルトペンで「宣言」として書く。</p>	
7 宣言の共有 【全体】（5分）	○各グループから「宣言」を発表する。	○「宣言」が書かれたA3版用紙は黒板等に貼り、全員が見られるようにする。	9
8 省察 【個人】（5分）	○「明日」から個人で取り組むことを考え、付箋に書く。	<p>○付箋記入時は、次の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色を1色に指定（例：黄色） ・黒サインペンを使って ・名前を記入 	10

●研修後

○例えば、今後の取組につなげるために次のような方法が考えられる。

①「学校として取り組むこと」「学年／教科等の宣言」「個人の省察」を模造紙にまとめる。

②上記の模造紙を、職員室等、常に職員が目にする場所に掲示する

③1ヶ月後等、時期を決めて取組について見直す

（やっていることを別の模造紙に移動させる、新たに必要だと思ったことがあれば違う色の付箋に書いて貼る等）